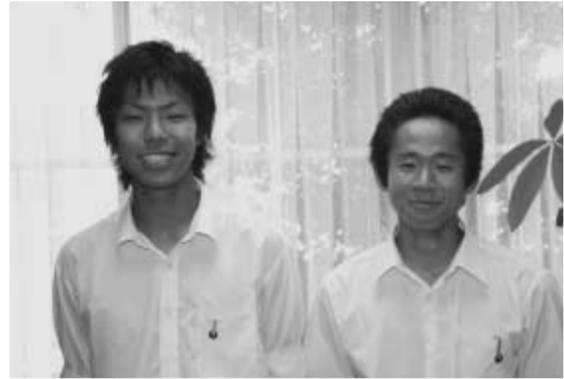




北関東高校陸上・棒高跳び

初優勝【4メートル70】
佐々木 潤一郎さん (八潮高校3年生)

5位入賞【4メートル40】
新鷲 壮美さん (八潮高校2年生)



佐々木さん

新鷲さん

「棒高跳びの楽しいところは、自分でも考えられないほど高いところを飛ぶところです。」と佐々木さん。飛んだ時、体の位置は5メートル30センチにも達するそうです。「失敗した時の恐怖心はありますが、自己記録を超えた時に立つ鳥肌は何ともいえません。」と新鷲

さん。常に自分との戦いだそうです。そんなお2人は、高校生で一番なることを目標に、日々、練習に励んでおり、「インターハイに向けて頑張ります」と笑顔で答えてくれました。インターハイは8月2・3日に行われます。皆さん、応援を、お願いします。

保健センターからのお知らせ

不妊治療費助成事業の助成期間延長

県では、不妊治療(体外受精および顕微授精)の費用に対して、1年度あたり10万円を限度に助成をしています。平成18年度から、助成期間を通算5年度(従来は、通算2年度)に延長しました。

問合わせ先 保健所草加分室 ☎925・155

不妊に関する埼玉県の相談窓口

○県不妊専門相談センター(医師による面接相談・予約制) ☎049・228・3410

○県女性健康支援センター ☎049・283・9020

麻しん・風しん予防接種制度

6月2日から予防接種法施行令の一部改正により、麻しん・風しん予防接種制度が変わりました。詳しくは、下表を参考にしてください。

*麻しんまたは風しんに感染した方は、麻しん風しん混合予防接種の対象にはなりません。

ご不明な点は、保健センターにお

問い合わせください。

麻しん・風しん予防接種一覧表

| 予防接種名 | 対象年齢 | 接種方法および回数 |
|---------|------|---|
| 麻しん・風しん | 1期 | 1歳~2歳未満 <1期・2期とも①②のいずれかの方法> ①麻しん風しん混合ワクチン1回 |
| | 2期 | 5歳~7歳未満 未就学小 学校就学 前1年間 ②麻しんまたは風しん単抗原ワクチン(いずれか1回) (いずれか一方に感染した方は、感染していない方の単抗原ワクチンを1回接種) |

①7・8月のパパ・ママ学級
7月23日(日)・8月20日(日) 午後1

②骨粗しょう症検診
8月9日(水) 午前の部 午前8時45分~10時45分、午後の部 午後1時~2時45分*結果説明会 8月25日(金) 午前10時
20歳以上の市民の方
問診、骨密度測定
午前30人、午後30人(申込順)
無料
ヘルスアップ料理教室
親子で楽しくクッキングしましょう。
8月25日(金) 午前9時30分~午後0時30分
市内在住の親子(祖父母可)
望ましい食習慣の話とバランス食の調理実習
定20組
費1人500円(材料費)
①②③共通
保健センター
電話で、保健センター ☎995・3381へ

行ってみたいな となりまち



近隣4市1町のイベント情報をお届けします。

越谷市

越谷花火大会
7月29日(土) 午後7時~(小雨決行。雨天・強風の場合は中止)
越谷市中央市民会館東側、葛西用水中土手(越谷駅東口下車徒歩10分) ※会場周辺は交通規制が行われます。

約5千発の打ち上げ花火が、夏の夜空を彩ります。
越谷市観光協会 ☎966・6111

草加市
らくがきジャンボせんべい手焼き
直径21センチメートルのせんべいに絵や文字を描いて焼きます。
7月24日(月)~30日(日) 午前11時~午後4時
伝統産業展示室(松原団地駅東口徒歩5分)
小学生以上
各日20人
定500円
前日までに伝統産業展示室 ☎931・1970へ

三郷市
早稲田公園プールがオープン
7月14日(金)~8月31日(木) 午前9時~正午・午後1時30分~4時
吉川産の新鮮でおいしい野菜を夕食の食卓にどうぞ!
7月13日(木) 午後4時30分(売り切れ次第終了)
吉川駅北口ロータリー内
吉川産の取れたて農産物の即売
吉川市農政課 ☎982・9482

吉川市

松伏町
フレッシュ・コンサート
および在学によるフレッシュな演奏をお楽しみください。
7月23日(日) 午後2時開演(1時30分開場)
田園ホール・エローラ(北越谷駅東口、吉川駅北口から「エローラ」行きバスで「中央公民館前」下車)
ピアノ、管楽器、打楽器などバラエティ豊かな内容です。
無料 ※未就学児入場不可
松伏町ふるさと文化財団 ☎992・1001

俳句
八条 杉村 知香
夏布団何を夢みる児の寝顔
八条 加藤 龍子
雨蛙両手を仕え雨を呼ぶ
中央一 山角 微陽
あかあかと燃えつつ生きた友まぶし
八条七 石井 忠枝
梅雨晴れ間傘の花咲きにけり
八条七 茂村 つ留
帰途急ぐ梅雨に濡れたる遊歩道
緑町五 村田 恭子
母の愛ふいによぎりし緑雨かな
伊 草 井上 進寿
母の里ぐるり田の中遠蛙
八条七 小倉 孝義
写真展写真が誘う飛騨の夏
八条 松永 晴夫
にわか雨青田の蛙鳴きやみぬ
大曾根 小倉 義孝
五月だれや降る川の面に花筏
緑町三 岩田 苑江
兄よりの手紙も濡るる走り梅雨
緑町五 藤波 ふみ
友よりの誘いの電話梅雨晴れ間
木曾根 古根 昌明
バリバリと蛇の目ひろげて梅雨の中

短歌
中央三 輪島 武
とどめなく降りしる雨あじさいの
変化の彩にしばしたたずむ
木曾根 高谷 多門
白アジサイ短く生きしひと偲び
寺院の庭にしずかに咲きぬ
南後谷 杉村 セツ
さわやかなジャスマン匂い庭に出で
心みても憂さを忘れん
中央一 猪瀬 利助
沈み行く夕陽に映えしさざ波の
川面に集う水鳥の群れ
八条 斎藤 孝男
樹々や家映す水田に白鷺の
首を傾けて歩きおたり
南川崎 松谷 永子
紫陽花の一雨ごとに色深く
鮮やかな花咲かせおるなり
大曾根 白方美代子
孫娘爺や叱ると見つめてる
「爺ちゃん遊ば」と手をさしのべて
(文芸欄へのご投稿は現代かなづかいでお願います。選者)

文芸欄 吳美代選

廣聴広報課 ☎423

詩
クレソン 大瀬 中 真理
ガラス瓶に挿したクレソンの根元に
わたしはかすかにけぶりはじめた
やさしくゆするわたしの母は
どこにいるのだろうか
わたしは
なまあたたい水蹴って
臍帯のように伸びていく
ふと気がつく
おびたたい織毛たちが
ほそい糸になって絡み合っている
そのまんなかにわたしがいるのだ
わたしは母になっていた
もつれ合って
胎盤のわたちになったわたしたちから
透きとおった体液が
茎をさかのぼっていく

詩
中央一 斎藤 富吉
梅雨晴れ間病み臥すわれにたよりなし
大曾根 横山 英道
万緑を指の先まで吸いにけり
大曾根 椎野さち子
水遣れば出でし珍客雨蛙
大曾根 根岸佐代子
空き棚田菖蒲は沼に变身す
大曾根 藤郷千代子
鮎たちの満ち溢れくる川となり
八条 小金丸美智子
くるくると回る派手目の日傘かな
八条 大山トキ子
しづく散る水菜の収穫梅雨晴れ間
大曾根 寺井 時子
雨に濡れなお鮮やかに額の花
垢 森田エミ子
干し物を出し入れ急ぐ天気雨
垢 沼野 あい
薫風に髪なびかせる一輪車
中央二 大久保きよ子
青空に未来ふくらむ鯉のぼり
八条 大川みつ江
溪流を眼下にしつつ鯉のぼり
南川崎 平山孝之助
母の日はやさしき母を思い出し
伊 草 初川 れい
空敞う大樹の葉蔭風薫る

俳句
八条 杉村 知香
夏布団何を夢みる児の寝顔
八条 加藤 龍子
雨蛙両手を仕え雨を呼ぶ
中央一 山角 微陽
あかあかと燃えつつ生きた友まぶし
八条七 石井 忠枝
梅雨晴れ間傘の花咲きにけり
八条七 茂村 つ留
帰途急ぐ梅雨に濡れたる遊歩道
緑町五 村田 恭子
母の愛ふいによぎりし緑雨かな
伊 草 井上 進寿
母の里ぐるり田の中遠蛙
八条七 小倉 孝義
写真展写真が誘う飛騨の夏
八条 松永 晴夫
にわか雨青田の蛙鳴きやみぬ
大曾根 小倉 義孝
五月だれや降る川の面に花筏
緑町三 岩田 苑江
兄よりの手紙も濡るる走り梅雨
緑町五 藤波 ふみ
友よりの誘いの電話梅雨晴れ間
木曾根 古根 昌明
バリバリと蛇の目ひろげて梅雨の中

短歌
中央三 輪島 武
とどめなく降りしる雨あじさいの
変化の彩にしばしたたずむ
木曾根 高谷 多門
白アジサイ短く生きしひと偲び
寺院の庭にしずかに咲きぬ
南後谷 杉村 セツ
さわやかなジャスマン匂い庭に出で
心みても憂さを忘れん
中央一 猪瀬 利助
沈み行く夕陽に映えしさざ波の
川面に集う水鳥の群れ
八条 斎藤 孝男
樹々や家映す水田に白鷺の
首を傾けて歩きおたり
南川崎 松谷 永子
紫陽花の一雨ごとに色深く
鮮やかな花咲かせおるなり
大曾根 白方美代子
孫娘爺や叱ると見つめてる
「爺ちゃん遊ば」と手をさしのべて
(文芸欄へのご投稿は現代かなづかいでお願います。選者)